



⑳ 山王廃寺石製鴟尾

# 総社・清里の文化財めぐり



前橋市教育委員会

文化財保護シンボルマーク

## 総社・清里の歴史

榛名山東南麓に咲いた古代から近世におよぶ歴史は、この地に存在する貴重な文化財が伝えてくれます。

各所から出土する遺物は、縄文・弥生時代からこの地の人々の営みを示しています。

古墳時代になると後期・終末期を中心に総社古墳群が造られます。6世紀後半には前方後円墳である(総社)二子山古墳、7世紀には愛宕山・宝塔山・蛇穴山古墳の方墳群が造られます。また、新しい文化を積極的に取り入れ、東日本最古の寺院の一つである山王廃寺がつくられました。優美な塔心礎・塑像群などに技術の高さと内容の充実がしのべられます。その背景には上野国を東北経営の拠点としようとする大和政権の意図が感じられます。律令時代になると当時の群馬郡に上野国府、国分寺(8世紀中頃)が造られ、上野国の政治・文化の中枢となりました。

しかし、10世紀前半の平将門や12世紀後半の足利俊綱による戦乱で、古代の文化の華は荒廃したとみられます。

戦国の世を経て江戸時代(17世紀初め)になると秋元長朝が総社(今の元総社)に封ぜられました。新田開発と城の防御のため開削した天狗岩用水は農民に多大な恩恵を施しました。秋元氏は総社藩では30年の治政でしたが、後に農民によりその徳と善政を讃える力田遺愛碑が建てられました。

このほか総社には多くの文化財があります。また、清里(明治22年大字池端の池のさんすい「シ」と青梨子の「青」とを結合して「清」、野良犬の野のさとへん「里」をとり清里村の名称としたとされる)地区にも、多くの寺社や石造物などの文化財が残っています。

問い合わせ先 文化財保護課  
前橋市三俣町2-10-2  
TEL 027-231-9875  
FAX 027-231-9862



① 野良犬獅子舞



④ 石田玄圭の墓

## 総社・清里の文化財を訪ねて

総社地区は古墳時代から文化の栄えた地域で、その歴史にふさわしい史跡・文化財が集中しています。清里地区にも貴重な文化財が残されています。

① 野良犬獅子舞 (市無民文) 八幡宮 清野町346  
清野町は旧名「野良犬」といい、その鎮守である八幡宮には三頭で舞う獅子舞が伝承されています。流派は「関白籠天流」といわれ、首を左右に振る躍動感のある表現が特徴で、十三種の舞があります。

② 神明宮 池端町157  
市の北西部の町にあるこの神明宮は、大日靈命を祭神としており、4月9日と10月9日に例祭が行われます。円墳の上まつられている神社ですが、現在は南西が石垣で囲まれています。

③ 正法寺 青梨子町120  
天台宗の寺で、境内には文明18年(1486)銘の六地藏石幢があります。輪廻車の孔のついたものとしては市内で最も古いものです。後補の車が現在もついでおり、乱世の人々の苦悩をしのばせる遺物といえます。

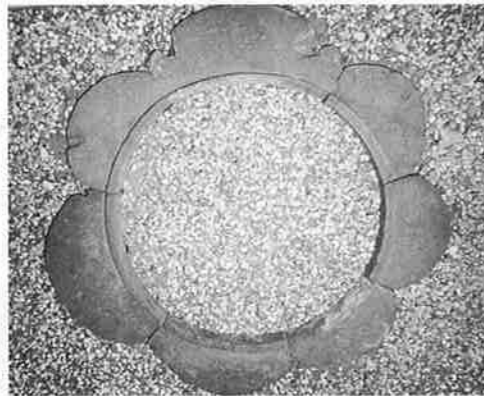
④ 石田玄圭の墓 (県史跡) 高井町1丁目34-12  
佐波郡出身の医家、和算家、和算では関流(孝和)の免許皆伝となり、地方にあつて弟子の養成や学問研究を行い、医療につくし、農業に役立つ「啓学小成」を著すなど大きな功績を残しました。

⑤ 植野稲荷神社太々神楽 (市無民文) 植野稲荷神社 総社町桜ヶ丘1039-2  
4月第1日曜の植野地区の春祭りに、神社に奉納される神楽で18座あります。また、明治初年に完成した神社拜殿の彫刻は大変すばらしく、市内でも有数のものです。

⑥ 天狗岩用水 渋川市北橋町真壁～周屋町北部(現在)  
江戸初期(1604)総社藩主秋元長朝により、新田開発と城の守りの目的で開削されました。3年を費した難工事で、天狗が現われ大岩を取り除いて工事が完成したとの伝説から、天狗岩用水と呼ばれるようになりました。



⑫ 愛宕山古墳(発掘時)



⑳ 山王廃寺塔心柱根巻石



⑬ 遠見山古墳



⑮ 蛇穴山古墳



⑬ 東覚寺層塔



⑬ 力田遺愛碑



⑳ 上野国分寺跡



⑭ 宝塔山古墳石室内部

幡(市重文)および石幢(市重文)や近江国石山寺周辺の景観が描かれた石山寺蔭絵机(市重文)、香炉・花瓶・燭台を一そろえとした三具足、芦屋(福岡県)で作られたと伝えられている輪口瓜形釜附極め書3通(市重文)があります。

⑭ 宝塔山古墳 (国史跡) 総社町総社1606  
7世紀後半に造られた墳丘の一边が約60mの方墳です。複室形式の石室・載石切組積み積みの壁面には漆喰が塗られるなど優美なつくりで、中に安置されている家形石棺の脚部は格狭間という切り込みがあり、仏教文化の影響を示しています。墳頂には秋元氏歴代墓地(市史跡)があります。

⑮ 蛇穴山古墳 (国史跡) 総社町総社1587  
7世紀末に造られた墳丘の一边が約43mの方墳です。天井・壁面とも一石でつくられた、載石切組積み積みの横穴式両袖型石室は大変精巧で、漆喰の跡があります。羨道をもたず、入口には扉石があり扇状の前庭があります。

⑯ 粟島の百万遍 神明宮 総社町総社1229  
百万遍とは百万遍念仏供養の略称です。「ナンマイダ ナンマイダ」と念仏を唱えながら、大きな数珠を繰る行事で、町や村に疫病神の侵入を防ぎ、無病息災を願って行われます。神明宮は総社町の鎮守の社で、総社城の大手門跡でもあります。

⑰ 遠見山古墳 (市史跡) 総社町総社1410  
5世紀後半頃造られたと推定される墳丘長約70mの前方後円墳です。ここは総社城内であるため、墳丘が遠見の櫓として利用されたことからこの名がついています。

⑱ 総社城跡・南木戸跡・西木戸跡  
総社城の本丸は利根川の氾濫により崩れ、その他は宅地や農地になっており、南木戸跡・西木戸跡の石碑が歩道の端にあります。

⑲ 総社資料館(案内休憩施設) 総社町総社1500  
総社・元総社地区をはじめ、市西部地域の考古、歴史、民俗に関する資料が展示されており、山王廃寺や秋元氏関係のものが中心に

⑰ 勝山城跡 総社町植野  
元景寺の北にあった中世の城で、利根川の氾濫によりその大半が河川に崩落し、現在はそのおもかげはありません。

⑱ 立石諏訪神社の獅子舞(市無民文) 諏訪神社内 総社町植野462  
文禄元年(1592)諏訪安芸守頼忠が総社城に封ぜられた際、この諏訪神社が勧請されたとのことで、この獅子舞は神社の祭礼で奉納され、三頭の獅子とカンカチの四人による豪快な舞です。

⑲ 元景寺 総社町植野150  
初代総社藩主秋元長朝が父景朝の菩提を弔うために建立した寺です。この寺には、景朝の墓(秋元氏墓地・市史跡)、石造地藏菩薩坐像(市重文)や天明3年(1783)の浅間山の大爆発による犠牲者を弔うため建てられた天明の供養塔、天狗岩用水の天狗伝説にまつわる羽階権現などがあります。

⑲ 五千石用水 元景寺北～元総社  
天狗岩用水と同時に造られ、元景寺の北から天狗岩用水を分水し総社地内を流れ元総社から染谷川に合流します。天狗岩用水とともに総社城の防御施設としての堀の機能もありました。

⑲ (総社)二子山古墳 (国史跡) 総社町植野368  
墳丘長90mで6世紀後半に造られた前方後円墳です。横穴式両袖型の石室が二つあり、後円部には榛名山噴出の角閃石安山岩(軽石)前方部には河原石を使った石室が築かれています。前方部の石室からは、頭椎太刀、勾玉、鉄鏃などが出土したと伝えられています。

⑲ 愛宕山古墳 総社町総社1763  
7世紀前半に造られた墳丘の一边が約56mの方墳です。巨石巨室の横穴式両袖型石室には家形石棺が安置されています。

⑲ 光厳寺 総社町総社1607  
総社藩主秋元長朝が菩提寺として建立した寺で、江戸初期と推定される薬医門(市重文)や室町期と推定される東覚寺層塔(市重文)天狗岩用水を開削し善政を施した長朝の功績を農民が顕彰するため建てた力田遺愛碑(県史跡)があります。また、打敷・油単並びに

なっています。資料館の建物は、総社宿の中心に位置する本間酒店(「惣嬢」の銘跡で知られた造り酒屋)の酒蔵を利用しています。

⑲ 山王廃寺跡 (国史跡) 総社町総社2408 他  
7世紀後半に山王廃寺は創建されたと見られています。日枝神社境内にある石製鴟尾(国重美)や塔心柱根巻石(国重文)、塔心礎などは山王廃寺の壮大な規模を物語っています。また、これらの石製遺物は宝塔山・蛇穴山の古墳石室の石材加工技術と関連があるとされています。現在発掘調査により塔・金堂の他、基壇や堀立柱建物などが確認されています。また、たくさんの瓦、数多くの塑像片や壁材片なども発見されています。

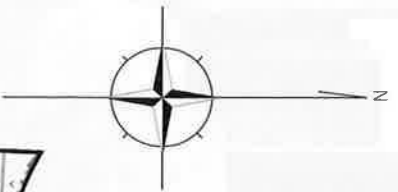
⑲ 上野国分寺跡 (国史跡) 元総社町～高崎市東国分町地内  
天平13年(741)、聖武天皇の詔により全国に国分寺が建立されました。上野国分寺の寺域は二町(約216m)四方といわれ、金堂跡と七重の塔跡の基壇などが整備されています。ここには、県の案内施設があります。尼寺は僧寺の東300mにあります。

⑲ 丁間稲荷神社 周屋町二丁目3-4  
丁間稲荷神社は、天狗岩用水開削のための測量の基点であつたといわれ、この塚の上から北を見通すと天狗岩用水が宝塔山古墳と愛宕山古墳の間を通っていることがわかります。また、ここには北方300mから移された笠葉師塔婆(市重文)があり、平安末期の民衆の仏教に対する信仰の姿を知ることができます。

⑲ 王山古墳 (市史跡) 王山公園 大渡町一丁目6-1  
6世紀初頭に造られた墳丘長76mの前方後円墳です。最初に円墳として造られ、後に前方部がつけ加えられました。後円部は内部まで人頭大の川原石で積まれた「積石塚」に似た大変めずらしい造りをしています。全長16mの長大な横穴式石室をもち、大室の前二子古墳などと共に横穴式石室が採用された初期の古墳としての特徴をもっています。

(重文……重要文化財 重美……………重要美術品)  
(有民文…重要有形民俗文化財  
無民文…重要無形民俗文化財)

# 総社・清里の文化財を訪ねて



記号	説明
□	方墳
◻	前方後円墳
☪	寺
卍	神社
凸	城跡
⊥	石造物(碑墓等)
∴	その他
中	文化財めぐりコース
▼	文化財めぐりコース

## 【文化財めぐりコース】

### 《総社コース》

- 群馬総社駅 0.6km (総社) 二子山古墳 0.4km 愛宕山古墳 1.2km 元景寺 0.8km 神明宮 0.4km 遠見山古墳 0.5km
- 新前橋駅 3.8km 山王廃寺跡 1.5km 蛇穴山古墳 0.3km 宝塔山古墳 0.1km 光厳寺 0.3km 総社資料館
- 前橋駅 4.0km 王山古墳 2.5km

### 《清里コース》

- 群馬総社駅 2.0km 正法寺 1.2km 八幡宮 1.0km 八幡宮 0.8km 神明宮
- (青梨子町)
- 石田玄圭の墓 1.4km 熊野神社 1.0km 若宮八幡宮 1.0km 諏訪神社
- (青梨子町)